

令和7年度第6回教育研究評議会議事録

日 時	令和7年9月3日(水) 開会 午後3時00分 閉会 午後5時12分
場 所	第1会議室(オンライン会議併用)
出席者	榮坂学長、長谷山理事長、米澤理事、村田副学長、川口副学長、平山副学長、川村副学長、星野副学長、新井教授、佐藤教授、八久保教授、黒河教授、大津教授、澤田教授、三浦教授、奥山事務部長、南教授、榊井教授、升井教授、小西教授
欠席者	森田教授、内島教授、高橋教授
陪 席	柏木監事、布施監事、伊藤監事、近藤監事

議 事

1 教員の選考について

(1) 機械電気系教授又は准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の榊井教授から別紙(資料1-1-1~1-1-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、学長から、今回の教授又は准教授選考については適格者がいなかったことから選考委員会の任務は完了としたい旨説明があり、種々議論の結果、承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・応募者Dについて、プレゼンテーションや質疑応答に使用するパワーポイント等の資料を提示しなかったということかとの質問があり、その通りであり、本人が講義で使用している資料や、学生時代の学位論文については確認できたが、確認しなかった学術論文の用意がなかった、そして本人に様々な質疑応答を行ったが散漫とした回答だった旨の回答があった。

(2) 社会環境系教授又は准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長代理の八久保教授から別紙(資料1-2-1~1-2-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。投票の結果、チョンイルウォン氏が准教授適格者として承認された。

(3) 情報通信系教授又は准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の榊井教授から別紙(資料1-3-1~1-3-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、学長から、今回の教授又は准教授選考については適格者がいなかったことから選考委員会の任務は完了としたい旨説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 応用化学系教授又は准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の津教授から別紙(資料1-4-1~1-4-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、阿部薫明氏が教授適格者として承認された。

(5) 機械電気系准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の佐藤教授から別紙(資料1-5)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、奥山彫夢氏が准教授適格者として承認された。

(6) 地域国際系教授(国際交流センター)の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の星野教授から別紙(資料1-6-1~1-6-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、小野真嗣氏が教授適格者として承認された。

(7) 機械電気系教授選考委員会の設置について

学長から、機械電気系長から教員選考の申し出があり、令和7年8月25日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-7)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(8) 社会環境系教授選考委員会の設置について

学長から、社会環境系長から教員選考の申し出があり、令和7年9月1日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-8)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 准教授の博士後期課程主指導教員の選考について

学長から、令和7年9月1日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料2-1、参考資料)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、申し出のあった FENG CHAOHUI 氏が大学院担当教員(D合)として承認された。

(2) 機械電気工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(5)で審議のあった奥山彫夢氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2-2)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、奥山彫夢氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

(3) 社会環境工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(2)で審議のあったチョンイルウォン氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2-3)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、チョンイルウォン氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

(4) 応用化学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(4)で審議のあった阿部薫明氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2-4)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、阿部薫明氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

(5) マネジメント工学プログラム

学長から、議題1－(6)で審議のあった小野真嗣氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2－5)に基づき説明の後、議題1－(6)の審議において実質的に大学院担当の資格審査を行っていることから、可否投票を行わずに承認願いたい旨の説明があり、審議の結果、小野真嗣氏が大学院担当教員(M可)として承認された。

3 非常勤講師の選考について

学長から、機械電気系長及び情報通信系長から非常勤講師の選考に関する申し出があった旨説明の後、企画総務課長から別紙(資料3－1～3－3)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 地域国際系の分野再構成に伴う関係申合せの改正について

学長から、令和7年9月1日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙(資料11)に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

- ・現在、地域国際系に属している教員はどうなるのかとの質問があり、系内で検討することとなる旨の回答があった。
- ・現在、採用を予定している方についてはどうなるのかとの質問があり、採用時に判断する旨の回答があった。
- ・大学院担当教員資格再審査に関する申合せについて、大学院担当教員資格再審査基準に関する別表と、准教授の大学院博士後期課程主指導教員の資格審査に関する申合せについてにおける審査基準の別表を比較すると、准教授の大学院博士後期課程主指導教員の資格審査に関する申合せについてにおける審査基準の別表では情報通信系・情報基盤管理分野の記載がないが、どのような取扱いとなっているのかとの質問があり、当初規定として制定した後に加わった分野となっており、系からの申し出がないので、改正されていない状況である、また今回の申合せについては教授の昇任や採用時の参考としてほしいとの回答があった。

5 先進工学科の初年次教育方針について

学長から、令和7年7月11日開催の教務委員会の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙(資料4)に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

- ・初年次教育方針については理解できるが、学生の学力低下や学力の格差を心配しており、授業のテコ入れは必要ではないのかとの質問があり、今後リメディアル教育など力を入れていくことを考えているが、教務委員会や各系でも是非検討していただきたい重要な課題であるとの回答があった。

6 北見工業大学教育研究支援基金規程(案)の制定等について

学長から、令和7年5月26日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、奥山事務部長から別紙(資料5－1～5－5)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7 北見工業大学における競争的研究費においてプロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する取扱要項(案)について

学長から、令和7年8月25日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長から別紙(資料6－1～6－4、参考資料)に基づき説明があり、種々議論の

結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・プロジェクトで雇用されている研究者が他の研究に時間を割くことを認めるということが前提だと思うが、そこは確認した上で大学に申請するということか、また、府省関係のプロジェクトであればこの制度が使用できる可能性が高いということかとの質問があり、プロジェクトの担当機関がプロジェクトで雇用されている研究者が他研究に時間を割くことを認めていれば、使用できる可能性がある旨の回答があった。

・この制度はいつ頃からの運用を考えているのかとの質問があり、本日の評議会をもって制定となる旨の回答があった。

8 第1次大学総括理事候補者の選考について

学長から、令和7年4月9日開催の教育研究評議会を経て提案する旨説明の後、別紙（資料7、参考資料）に基づき説明があり、審議の結果、榮坂学長、村田副学長、平山副学長の3名が、本学の大学総括理事候補者として選出され、令和7年11月28日までに候補者の略歴と所信等を作成し機構に提出することとなった。

報告事項

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1 令和6年度学内予算の決算について（資料8） | （管理課長） |
| 2 令和7年度学長裁量経費について（資料9） | （説明無し） |
| 3 研究推進センター等の自己評価について（資料10） | （説明無し） |
| 4 その他 | |
| （1）学部改組の設置手続き完了について（資料無し） | （学長） |

次回教育研究評議会 令和7年10月8日（水）午後3時00分開催予定